

理事選挙 立候補者名簿及び理由・抱負、推薦者名

No.	氏名	所属	立候補あるいは推薦する理由・抱負など	推薦者・氏名
1	青山 裕	北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター	大学や研究者にも自然災害の軽減にむけた取り組みが強く要請されるようになった今日において、火山災害の軽減ならびに噴火予知研究の推進を支える国内唯一の学術団体である日本火山学会が果たす社会的使命は大きい。18歳人口の減少が見込まれる中で、火山に興味を持つ人々を会員として広く迎え入れ、火山学や火山防災について垣根なく議論できる環境を提供し続けることは、当学会の最優先の指名である。理事として本学会の運営に積極的に関わり、学会および火山学の更なる発展に貢献していきたい。	井口正人
				橋本武志
				高橋浩晃
2	井口正人	京都大学防災研究所 火山活動研究センター	日本火山学会で今後、強化すべき課題は以下の3点であり、これらの課題解決について努力したい。 ①火山学および連携する周辺学術領域での人材育成と確保 ②火山学会の国際化 ③社会との関わりの強化、特に火山災害軽減において	篠原宏志
				下司信夫
				中道治久
3	石峯康浩	鹿児島大学地域防災教育研究センター	立候補者は、日本火山学会の火山防災委員や防災学術連携体の連携委員を務めるなど、火山学の知見を災害軽減に活用するための活動を積極的に行ってきた。特に、公衆衛生や災害医療の分野との境界領域のような、これまでの学会において見過ごされてきた研究課題に果敢に取り組み、独自の視点で火山学の発展に貢献しつつある。これらの活動をさらに発展させるには、学会理事となり立候補者の知見を学会全体に広く浸透させる必要がある。	井口正人
				下司信夫
				篠原宏志
4	市原美恵	東京大学地震研究所 火山噴火予知研究センター	日本火山学会は学術的な火山研究を軸に、多様な専門分野と応用対象を持つ会員が集まっています。会員間の交流を通じて、火山学の発展に微力ながら貢献できればと思います。	青木陽介
				武尾 実
				金子隆之
5	上田英樹	(国研)防災科学技術研究所	火山研究において分野間及び組織間の連携は、益々重要となっています。私は、火山研究及び火山監視に資するため、火山観測網の整備・運用、気象庁・大学・防災科研との間のデータ交流・共有のシステム運用などを行ってきました。次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトにて、火山観測データの共有についても検討を進めています。この活動や経験を活かし、日本の火山研究の発展に貢献して参りたいと考えております。	藤田英輔
				三輪学央
				山田大志
6	大倉敬宏	京都大学大学院理学研究科 附属地球熱学研究施設火山研究センター	候補者は、長年にわたり、大学の理学部附属の火山観測所に勤務し、学部生および大学院生の教育、沈み込み帯や阿蘇カルデラの地震波速度構造などの研究および現場での観測業務に従事してきた。また近年は、地元の火山連絡事務所、防災会議協議会、阿蘇ジオパーク事務局などとも連携を密にしている。さらに、2016年7月からは、火山学会の学校教育担当理事を務めている。今後も引き続き学会の運営に貢献していきたい。	鍵山恒臣
				宇津木充
				横尾亮彦
7	大野希一	島原半島ジオパーク協議会	ジオパークは、持続可能な地域社会の構築を通じて、学術的価値を有する地球活動の遺産の保護を目的とする、ユネスコの正式事業である。今回、ジオパーク担当理事に立候補するにあたり、学会員に上述のジオパーク事業の目的の周知を図るとともに、ジオパーク認定地域における学会員の火山研究の推進を図りたい。なお、ジオパーク事業への参画は、火山防災事業への貢献だけでなく、国連が推進する「持続可能な開発目標(SDGs)」の取り組みに火山学会が貢献することに繋がると考えている。	廣瀬 亘
				中田節也
				井村隆介
8	下司信夫	(国研)産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	日本火山学会の学術活動のさらなる活性化のため、火山学周辺分野との協力や国際協力を推進するとともに、研究者の研究活動を学会としてサポートする体制の充実をはかります。	及川輝樹
				宮城磯治
				田中明子
9	篠原宏志	(国研)産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	学会の財政状況の改善を進めつつ、学術研究の多様化や社会との関わりが強まる中で学会のあり方を検討し、学会の発展に努力したい。	井口正人
				下司信夫
				石峯康浩
10	嶋野岳人	常葉大学大学院環境防災研究科	嶋野氏は2期4年間にわたり大会委員長(担当理事)を務め、秋季大会に関わる手続きや円滑な開催、開催地決定の公募化を実行しました。特に、学会財政健全化のため、講演予稿集のpdf化と冊子体の一部廃止、参加費値上げなどは、アンケートなどで会員の意向を十分に踏まえた上で実施しました。また、会員による提案型セッションの実施も行いました。これらの実績を踏まえ、嶋野氏を理事として推薦いたします。	井口正人
				下司信夫
				中道治久
11	高木朗充	気象庁気象研究所 火山研究部	高木氏は、気象庁気象研究所において気象庁における火山業務に関連する研究・開発を行っており、実績をあげている。高木氏は、長年にわたる火山研究実績に加え、雲仙岳測候所や気象庁火山課、文部科学省地震・防災研究課における、火山の活動監視、火山噴火予知研究のとりまとめなど、研究以外の業務経験も豊富である。火山学会の活動を、更に効果のあるものにするべく、候補者を推薦するものである。	山里 平
				齋藤 誠
				山本哲也
12	千葉達朗	アジア航測株式会社 先端技術研究所	火山学会を発展させるためには、新入会員を増やしていく必要があり、そのためには普及活動が大切。民間の活力を生かすことで、貢献したい。	荒井健一
				藤田浩司
				成毛志乃

13	東宮昭彦	(国研)産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	候補者はこれまで火山学会の、庶務委員、評議員、財務委員、事業委員、編集委員、などを務め、2年前からは理事に就任して、学会活動に貢献してきた。これまでの経験を生かして今後も引き続き、学会活動に貢献していきたい。	篠原宏志
				宮城磯治
				山元孝広
14	中道治久	京都大学防災研究所 火山 活動研究センター	火山学のプレゼンスを高めつつ、日本火山学会の発展に微力ながら貢献できればと思います。担当職務にはこだわりはありませんので、与えられた役割を果たしていく所存です。	井口正人
				下司信夫
				嶋野岳人
15	西村太志	東北大学大学院理学研究科	日本火山学会の発展に貢献できればと思います。特に次世代の研究者の育成、学術の振興、火山学の知見の普及に尽力できるよう頑張りたいと思います。	下司信夫
				小園誠史
				山本 希
16	萬年一剛	神奈川県温泉地学研究所 研究課	広く一般の火山研究及び火山そのものの理解を増進するため、充実した広報活動を軌道に乗せていきたいと考えております。	里村幹夫
				笠間友博
				山口珠美
17	三浦大助	(一財)電力中央研究所 地球工学研究所	火山学会の発展のため、微力ながらお役に立ちたいと思います。よろしく願いいたします。	土志田潔
				竹内晋吾
				吉本充宏
18	宮縁育夫	熊本大学教育学部	わが国は世界有数の火山国であり、火山学の進歩や知識の普及などを目的として設立された日本火山学会は、学術的にも防災的にもなくてはならない組織であると考えます。私はこれまで本学会に支えていただき、研究活動を続けていくことができました。今後は自らの研究活動だけでなく、理事として日本火山学会の運営と発展に貢献したいと考え、立候補させていただくことにいたしました。	橋本武志
				寺田暁彦
				井口正人
19	山元孝広	(国研)産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	日本火山学会の更なる発展のためには、火山に関する科学的知見の社会への還元が必要です。特に火山噴火が社会インフラへ及ぼす影響や巨大噴火リスクの評価など求められる課題は広がっており、これらに答える努力をしていきます。	井口正人
				星住英夫
				中野 俊
20	吉本充宏	山梨県富士山科学研究所 火山防災研究部	2014年7月より火山防災委員会担当理事として、これまでの委員会事業と合わせて、内閣府との連携や火山防災パンフレットの作成などの活動を行って参りました。一方、御嶽山噴火災害以降、火山学者の防災への貢献や各火山の防災協議会への関与が求められています。そこで、学会の防災への貢献として、シンポジウムの開催や普及啓発だけでなく、火山防災に関する助言体制や協議会に関与する研究者のネットワークの構築などが必要だと考えています。引き続き、学会の火山防災に関わる活動に従事したいと思い、立候補いたしました。学会の発展に寄与したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。	藤井敏嗣
				中田節也
				前野 深

以上20名 (立候補者名・五十音順／敬称略)

・理事選挙投票用紙の15名分の欄に候補者名または候補者の番号を自書してください。所定数以下の投票も有効です。

・投票用紙返信用封筒は表面の有効期限に誤りがありますが、有効な封筒として使用可能です。
理事選挙投票用紙の返信用封筒として切手を貼らずにそのままご使用ください。

差出有効期限： 誤)平成30年2月15日まで 正)平成32年2月15日まで

・投票の締切りは**平成30年3月15日(木)**になります。

・理事選挙の開票作業は、2018年3月20日(火)に火山学会事務局にて行います。